

静岡県中学校総合体育大会 剣道の部

(兼 第44回 東海中学校総合体育大会剣道大会 予選会)
 (兼 第52回 全国中学校体育大会剣道大会)

1. 期 日
- | | | | | |
|---------------|------|----------------|-------------|-------------|
| 令和4年 7月23日(土) | 男子個人 | 開場8:00 | 開会式 9:15予定 | 試合開始9:30予定 |
| | 女子団体 | 開場12:30 | 開会式13:30 予定 | 試合開始13:45予定 |
| 令和4年 7月24日(日) | 女子個人 | 開場8時 | 開会式 9:00予定 | 試合開始9:15予定 |
| | 男子団体 | 開場12:30 | 開会式13:30 予定 | 試合開始13:45予定 |
- (予定時間は感染症の状況次第で変更する可能性があることをご承知おき下さい)

2. 会 場 静岡県立武道館 〒426-0067 静岡県藤枝市前島2丁目10-1
 ・個人戦、団体戦ともに大道場

3. 参加チーム・選手 (団体戦参加校数・個人戦参加生徒数)

支 部 名	男子団体戦	女子団体戦	男子個人戦	女子個人戦
賀茂・東豆 三島・田方	3	3	6	6
駿 東	2	1	4	2
沼 津	2	1	4	2
富 士	2	2	4	4
富 士 宮	2	2	4	4
静 岡	6	6	12	13
志太・榛原	3	2	6	5
小 笠	1	1	2	2
磐 周	3	3	6	6
浜松・湖西	8	10	16	20
合 計	32	32	64	64

※静岡・志榛(女子)はプレイオフ
 次第でどちらかの地区に出場枠1
 がプラスされる。

※今年度より、合同部活動(拠点校方式等による)の参加を認める。

4. チーム編成

監 督 : 当該校の校長・教職員・部活動指導員

※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に基づき、学校施設者により任用・学校への配置がなされ、部活動の顧問及び大会等の引率ができる者をいう。

選 手 数 : 5人

補 員 数 : 2人

※県中体連剣道部特別処置として申請された外部指導員1校1名は、試合場内への入場を許可する。

※運動部活動顧問等の部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する静岡県中学校体育連盟の対応について

「静岡県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会参加申込書を作成する。なお、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。」

5. 競技方法 個人戦

トーナメント方式

試合時間は、3分、延長を勝敗の決するまで行う。なお、延長の方法は下記のように行う。

試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止 (深呼吸をする程度)】⇒
 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息・給水(3分)】⇒
 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止 (深呼吸をする程度)】⇒
 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外しての休息・給水(3分)】⇒
 ⇒ 試合の続く限り繰り返す

※小休止の時間は30秒とし、場所は試合場内とする。(時間は県独自対応)

※面を外しての休息・給水の時間は3分(審判主任が計測)とする。選手はベンチで面を外し、ベンチから離れ壁側で休息・給水をする。審判員も一度場外へ出て休憩をとる。

※小休止、又は面を外しての休息・給水の際は、監督や外部コーチ、部活動指導員等はアドバイス等は認めない。

団体戦 ※コロナの状況によっては、予選リーグを廃止して、トーナメントによる試合形式で開催することもあり得る

○ A~H組にて予選リーグ戦(各組4校ずつ)

試合時間は、3分延長なし。

剣道 (2)

勝ち点法にて上位2校の決勝トーナメント進出校を決定する。

勝ち:2点、引き分け:1点、負け:0点

同点の場合は、勝者数、取得本数の順で決める。

それでも決定しない場合は、代表戦を行う。

代表戦は、2校の場合は、任意代表者1名により、3分1本勝負、延長を勝敗の決するまで行う。

3校の場合は、任意代表者1名(選手交代可)により、3分3本勝負、延長を勝敗の決するまで行う。

なお、延長については個人戦の方法に準じて行う。

- 各組上位2校による決勝トーナメント戦

試合時間は、3分。勝敗の決しない場合は引き分けとする。

勝者数、取得本数の同じ場合は、任意代表者1名による代表戦を行う。

代表戦は、3分1本勝負、延長を勝敗の決するまで行う。

なお、延長が長引いた際の休憩や水分補給時期は、個人戦の方法と同様に行う。

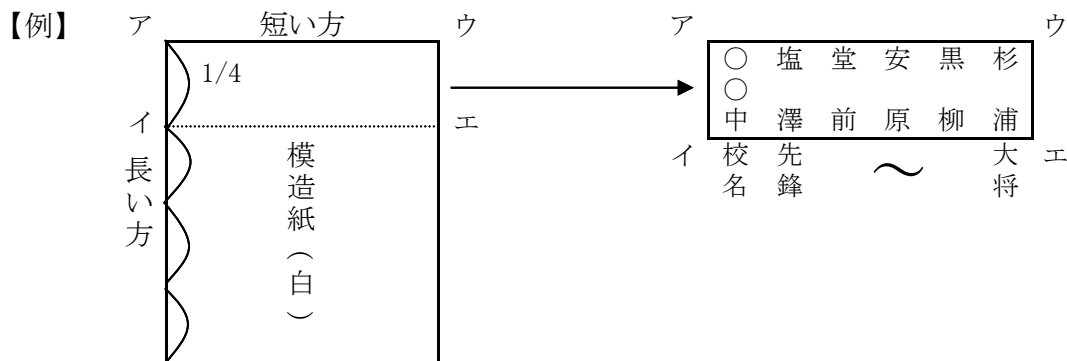
6. 競技規定

- (1) 全日本剣道連盟「剣道試合審判規則・細則」及び日本中学校体育連盟剣道競技申し合わせ事項ならびに、静岡県中学校体育連盟「剣道部申し合わせ事項」に則って競技を実施する。
また、「主催大会実施に当たってのガイドライン」及び「主催大会実施にあたってのガイドラインを受けての試合・審判に関する統一事項」に準じた【暫定的な試合・審判の方法】を一部採用して行う。
さらに、令和4年4月3日に全日本剣道連盟から新たに発出された「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」についても適用する。

- (2) 竹刀は、長さ114cm(3.7尺)以下、重さは男子440g以上、女子400g以上、**先革の太さは男子25mm**

以上、女子24mm以上とし、カーボン竹刀の使用も可とする。また、先革の長さは5cm以上とし、「ちくどう」の最小直径は男子20mm以上、女子19mm以上とする。なお、竹刀の柄中央に名前を必ず明記すること。

- (3) つば(鏢)は、皮革または化学製品の円形のものとする。大きさは直径9cm以下、色は革色(白も可)とし竹刀に固定する。条件を満たしていない場合は、その場でつばあるいは竹刀全部を取り替えさせる。
- (4) アイガード・ポリカーボネート面の使用を認める。
- (5) 名札は、垂中央に校名(〇〇中)・姓を白字で書く。布地は、黒または紺とする。同姓の選手がいるときは、名前の頭文字を書く。
- (6) 登録時に、団体戦で選手が5名に満たない場合、①次鋒、②副将の順で欠員にする。
- (7) 団体出場各チームとも、掲示用対戦表に校名、先鋒～大将の順に(男子は黒、女子は赤)書き、試合当日提出すること。なお、対戦順は当日提出する正規の申込書と相違しないこと。
- (8) 選手は必ず面マスク(鼻を覆う)、面シールドの着用を義務づける。



- (8) 審判員・監督・申請を受理された部活動指導員・外部指導員・選手・補員・役員・補助員以外は試合場に入れない。
- (9) 監督(1人)・外部指導員(1人)・部活動指導員(1人)・選手(5人)・補員(2人)以外は選手席に入れない。
- (10) 試合場への時計等の持ち込み・サイン・声援を禁止する。応援は拍手のみとする。
- (11) 補員を起用する場合は、監督が試合開始までに選手変更届をその試合が行われる試合場の審判主任に提出し、許可を得る(選手変更届提出後の内容訂正はできない)。補員の起用は交替者の位置とし対戦順の変更と交替者の再出場は認めない。
- (12) 学校ごとに目印(幅5cm、長さ70cm、赤および白の2色)を準備し、試合ごとに選手全員が付けること。
- (13) 面ひもは結び目より40cm以内、小手ひもは長くたれさげないできちんと結ばせる。
- (14) 選手交替の際のよけいな動作(胴つき・握手など)は禁止とする。
- (15) 面ぶとんは肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (16) 小手は前腕(肘から手首の最長部)の2分の1以上を保護し、小手頭部及び小手ぶとん部は十分な打突衝撃緩衝の能力があるものとする。また、小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内とする。
- (17) 剣道着の袖は、肘関節を保護する長さを確保したのものとする。

(18) 申し合わせ事項

- ・団体戦で対戦順(オーダー)を間違えて出場した場合は、その試合のみ該当選手を2本負とする。ただし、次の試合からは、正規の対戦順での出場を認める。
- ・サポーター・足袋・テーピング・コルセットは、医療上必要と認められた場合に限り使用を認める。使用する場合には届け出た上で使用する。サポーターは、肘、膝などに付ける物を足に付けたり、ゴムや革および滑り止めを底に張った物等の使用は禁止する。届け出と違う物を使用した場合は替えさせる。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- ・片手打ちは有効打突としない。また、突き技は禁止とし、反則とすることもある。(技としては反則とする)
- ・上段の構えはとらせない。ただし、身体上の理由があるときのみ協議の上認める。また、二刀については使用させない。
- ・不正竹刀を使用した場合、使用者は負けとし、相手に2本を与え不正竹刀使用者の既得本数及び既得権を認めない。また、その者は、その後の試合を継続することができない。ただし、団体戦のトーナメント戦においては、補員を補充することを認める。不正竹刀とは、①ビニールやセロハンテープを巻いた竹刀、②異物(先革の芯、柄頭のチギリ以外の物)を入れた竹刀、③検印のない竹刀をいう。
- ・団体戦の先鋒戦・大将戦では、監督・選手・部活動指導員/外部指導員は選手席に正座する。個人戦においての監督・外部指導員も同じとする。
- ・道場名の入った剣道着、袴での試合を出場は認めない。校名・校章等の刺繍は認めるが、大きさ、色を含めて華美にならないように配慮すること。
- ・面の乳革は、黒、紺色とし、刺繍・柄が入っていないものとする。
- ・柄革は、握りの部分に模様等のない無地のものとする。
- ・「変型な構え等の防御態勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。
- ・面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。
- ・大会運営をスムーズに行うため、団体戦における先鋒戦の開始については、監督が畳に座ったことを確認してから「はじめ」の宣告を行う。監督は、始礼(始めの礼)後、速やかに前列畳に移動し、選手を待たずに着座する。選手は、前の試合の終礼(終わりの礼)が行われたら、直ちに2列目の畳より立礼の位置へ移動し、団体戦の始礼を行う。面・小手・竹刀の移動は、始礼が終わった後に行う。
- ・本大会は「主催大会実施に当たってのガイドライン」(R2.8.27付け全剣連発出)と、「主催大会実施にあたってのガイドラインを受けての試合・審判に関する統一事項」(R2.10.22付け日中連剣道部発出)に準じた【暫定的な試合・審判の方法】を適用し、違反行為は反則とする。

(19) 服装・マナーについて

- ・監督、部活動指導員、外部指導員の服装は、正装(ネクタイ着用)とする。
- ・巻頭の「大会参加にあたっての注意事項について」を、各学校徹底の上大会に参加すること。

7. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

- (1) 大会中は常にマスクの着用を徹底すること。選手は面マスク(ガード)の着用を義務とする。また、一人一人が感染予防対策を意識し、マナーやモラルをもって参加すること。
- (2) 大会期間中、会場内に入場できるのは、**選手、監督・許可を得た部活動指導及び外部コーチ、審判員、大会役員、補助役員、保護者(選手1名につき1名)とする。**なお、入場の際は、大会2週間前からの検温表(別紙)を提出し、且つ「入場ID」を首から下げる。なお、検温表が未提出の場合、入場することはできない。**※今後の感染状況によっては、保護者の入場に制限をかける可能性がある。**
- (3) 観覧席は指定された席で、間隔を空けて観戦する。また、立ち見は選手等の移動を妨げることや密集の原因になりうることから禁止とする。
- (4) 会場内では、3密対策の観点から一方通行で動線を守って移動をすること。また、保護者、選手の接触を極力避けるよう努めること。
- (5) **個人戦における練習相手について、選手1名の場合、練習相手は1名とする。同校から2人以上出場する場合は、練習相手の付き添いは認めない。**
- (6) 試合に敗れた選手や学校は速やかに退館すること。その際、試合場内や館内でのミーティングは避ける。
※更なる詳細は各地区予選会終了後、代表校に配布される「感染症ガイドライン」で確認すること
- (7) 「主催大会実施に当たってのガイドライン」(R2.8.27付け全剣連発出)と、「主催大会実施にあたってのガイドラインを受けての試合・審判に関する統一事項」(R2.10.22付け日中連剣道部発出)に準じた【暫定的な試合・審判の方法】を適用し、違反行為は反則とする。

剣道 (4)

さらに、令和4年4月3日に全日本剣道連盟から新たに発出された「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」についても適用する。

8. 参加申し込み
- ・各地区部長からデータで送付された「参加申込書」に必要事項を入力し、メールにて提出する。
 - ・外部指導員の申請は、1校につき1名とする。外部指導員ベンチ入りについては5頁の説明により「外部指導員承認書」を提出する。
 - ・出場校は、参加料(1人1000円)を支払う。申込書は別紙の様式に必要事項を記入し、原本を大会当日県大会会場受付に提出する。 ※学校控用として、コピー1部を必ず残すこと。
 - ・参加料は地区予選終了後、速やかに各支部長に提出すること。
- ※参加料は団体戦と個人戦の両方に登録された場合も1000円とする。

大会参加申込み先 伊豆の国市長岡中学校 村田忠亮 宛 E-mail tadaaki7391@yahoo.co.jp ㇏切

9. 表彰

- (1) 団体 男女各8位までを入賞とし表彰する。
- 1 位 : 優勝カップ(中体連)、優勝楯(静岡新聞社・静岡放送)
賞状、メダル(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 2・3 位 : 賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 5～8 位 : 賞状(中体連)
- (2) 個人 男女各8位までを入賞とし表彰する。
- 1 位 : 賞状、メダル(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 2・3 位 : 賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
- 5～8 位 : 賞状(中体連)

10. 東海大会・全国大会出場枠

- ・東海大会 : 男女団体戦、県大会上位8校。男女個人戦、県大会上位8名。
- ・全国大会 : 男女団体戦、県大会優勝校。男女個人戦、県大会上位2名。

11. 東海大会・全国大会参加申し込み

- ・東海大会 : 出場校は、申込書を県大会会場で受け取り、県部長が指示した日までに、下記の項目12の責任者連絡先宛に提出する。(提出は原本・コピー各1部ずつ。学校控えのコピー1部を必ず残すこと)申込書とともに参加料(1人2,000円)を県部長に支払う。県部長は、コピーと参加料を、本県中体連事務局に、原本を大会当日開催県専門部長に提出する。
※参加料は団体戦と個人戦の両方に登録された場合も2,000円とする。
- ・全国大会 : 大会出場校は、申込書を県大会会場で受け取り、要項に示された申し込み先へ、学校から直接発送する。

12. 全国大会出場報告

- ・県部長は東海大会終了後直ちに全国大会出場チーム名、選手名を本県中体連事務局に報告する。

13. 責任者連絡先

〒410-2211 伊豆の国市長岡1407番地の1
伊豆の国市長岡中学校 村田 忠亮
TEL 055-948-0238 FAX 055-948-5654 E-mail nagaoka-chu@izunokuni.ed.jp